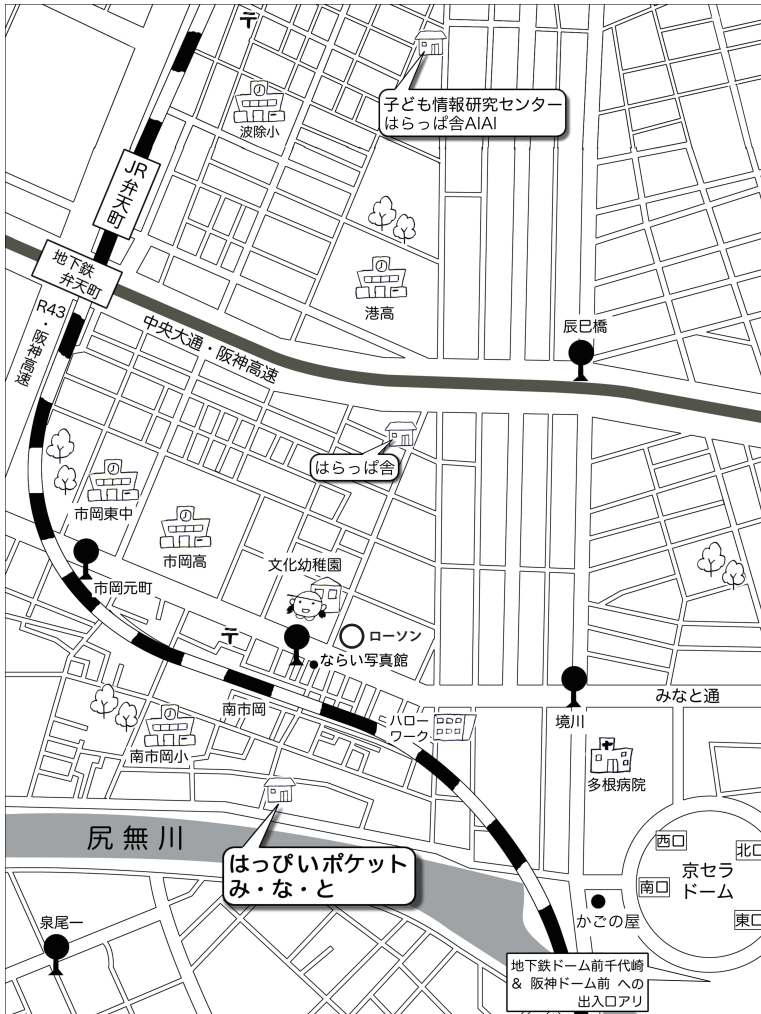


# はっぴい ポケット み・な・と

つどいの広場「はっぴいポケットみ・な・と」の主催団体である(公社)子ども情報研究センターでは、子どもの人権に思いを寄せる会員がさまざまな活動をしています。子どもとともに安心して人とつながれる居場所として「はっぴいポケットみ・な・と」を一緒につくっていきませんか！



子育て中の親と子どもだけではなく、プレママ、プレパパ、おじいちゃん、おばあちゃん、ご近所のみなさん、いろんな国のいろんな人が集まってつながりや笑顔が生まれる広場

商店街や子育てサークルをはじめ、地域のたくさんの方々とつながりを大切にしています

好きな時にきて、自由にくつろいでもらえる時間を共有したり、時には楽しいイベントを開催したりみんなで作る広場です

大阪市地域子育て支援拠点事業 はっぴいポケットみ・な・と

費用：無料（行事等では実費徴収もあります）

開所：月・火・水・金・土 AM9:30～PM2:30

（木・日・祝日・年末年始などはおやすみ）

場所：尻無川自治会館1階（港区南市岡1-11-19）

電話：070-6649-4355

メール：hapipominato@willcom.com

アクセス：地下鉄&JR弁天町駅から徒歩約20分

地下鉄&JR大正駅から徒歩約20分

南市岡バス停から徒歩約8分

地下鉄ドーム前千代崎駅から徒歩約20分

阪神ドーム前駅から徒歩約20分

委託運営：(公社)子ども情報研究センター

はっぴいポケットみ・な・とのサイトへ



【お知らせ】午前9時に大阪市に「暴風警報」又は「特別警報」が発令された場合、または状況により休館になる場合があります。その際のお問い合わせは（10:00～）(公社)子ども情報研究センター（TEL）06-4708-7087（HP）<http://www.kojoken.jp/>

## みんな違っていい

たくさんの方が利用するつどいの広場などにかかわっていると、そこに集う人たちの多様なことに驚かされます。子どもといっしょに来るのは母親とは限りません。外国のかたもいます。障害をもつといわれるおとなも子どももいます。ひとり親家庭など、家庭の形態、働き方もさまざまです。子どもとあそぶことが好きでつどいの広場を利用している人もいれば、子どもとふたりでいることがつらいのである人もいます。友だちをつくりたくて来ている人もいますし、友だちといっしょに来る人もいます。来なくなる人もいます。スタッフもまた、さまざまに子育て中の人、子育て一段落の人、子どものいない人もいます。利用する目的も、暮らしも、その人自身も、子どもも、みんな違います。でも、居心地のいいつどいの場には、それを尊重しあっている空気があります。

ある広場で、子どもが障害をもっているとされ、悩んでいる保護者がいました。広場に来ているときは、つながりのある人のなかで安心して過ごせていました。幼稚園に入り、「わたしの子どもだけ違う」と感じる場面が多く出ていくうちに、先生やほかの保護者と関係が築けなくなり、子どもを幼稚園に行かせることができなくなってしまいました。違いに悩んでしまい、「同じ」を求めて、専門的な対応をしてくれる場を望むようになっていきました。けれど、違いのなかで気づきあい、つながっていた広場のようなかかわりが、親にも子どもにも必要なように感じました。

親子が集う場には、たしかに誰もが安心して過ごすひとときがあるように思います。集う人たちのカテゴリーです。違いを認めあい、ゆるやかにつながるといことが自然にできてしまう！このかたちを地域、学校、社会：いろいろなところにもっていけたら、違いに苦しむ人はいなくなるかもしれません。みんな違っていいのです。

冊子「新しい子育て・子育て支援子育て温泉」より

公益社団法人子ども情報研究センター 発行・販売。



ファミリー子育て何でもダイヤルは、あなたのほっとチャンネルです。

毎週水曜日 10:30～20:00  
でんわ 06-6585-9287

大きな悩み… 小さな悩み  
誰かに話せば すっきりするかも…

